



平成 19 年 5 月 11 日

各 位

埼玉県川口市飯塚一丁目 18 番 8 号
株式会社 アドミラルシステム
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号: 2351 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 青木 邦哲
(Tel:048-259-5111)

平成 19 年 3 月期 通期決算ダイジェスト

Topics

連結： 過去最高の業績を記録（当期純利益 209 百万円、前年同期比 147.1%）、
「ドリームベースボール」好調により、デジタルコンテンツ事業急拡大
（売上高 426 百万円（前年同期比 144.3%）、営業利益 141 百万円（前年同
期比 2,236.2%）

【通期業績概要】

当連結会計年度（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）における連結売上高は、
過去最高の売上高となる 1,209 百万円（前年同期比 110.8%）となりました。

売上高が増加した要因としましては、インターネットサーバサービス事業においては、
前期より提供を開始いたしましたモバイル対応 E コマース支援サービス「ショッパー」及
びオンライン予約・受付管理システム「e リザーブ」の顧客を順調に獲得したことにより、
顧客単価が上昇したことによるものであります。

また、デジタルコンテンツ事業においては、平成 18 年 3 月より㈱スポーツレイティング
スで提供を開始したオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」が当初の予
定よりも好調に推移し、さらにアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」及びインター
ネットグループウェアサービス「HotBiz」においても堅調に推移したことから、デジタル
コンテンツ事業における売上高は、前年同期比 144.3%の 426 百万円と大幅な増収となりま
した。

利益面につきましては、売上高が順調に増加した結果、連結営業利益及び連結経常利益
はそれぞれ 336 百万円（前年同期比 136.8%）、340 百万円（前年同期比 130.8%）と増益と
なり、連結当期純利益につきましては、**209 百万円（前年同期比 147.1%）**と大幅な増益と
なりました。

連結業績	売上高	経常利益	当期純利益
平成 19 年 3 月期	1,209 百万円（110.8%）	340 百万円（130.8%）	209 百万円（147.1%）
平成 18 年 3 月期	1,091 百万円（108.6%）	260 百万円（106.2%）	142 百万円（147.1%）

【次期見通し】

次期における当社グループのサービス別事業活動計画は次のとおりであります。

（インターネットサーバサービス事業）

インターネットサーバサービス事業におきましては、既存サービスの充実化を図ってい
くとともに、事業者様が効率の良い業務を行うために必要となるアプリケーションを開発
し、サービスラインナップの強化を図っていくことにより、売上高及び利益の向上を目指

してまいりの方針であります。

(デジタルコンテンツ事業)

デジタルコンテンツ事業におきましては、インターネットがビジネス・生活には欠かせない社会インフラとして定着したことにより、今後益々の需要拡大が見込まれる状況にあります。

その中で、当社グループはオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」に続く新たなデジタルコンテンツを提供することにより、売上高及び利益の拡大に努めてまいりの方針であります。

また、当社グループが属するインターネット産業は新興産業の一つであり、環境の変化が著しい状況にあります。そのため、同産業の中で企業規模を拡大していくためには、成長性のある企業との業務提携や資本提携、もしくは同業他社又は事業的相乗効果の見込める企業とのM&Aを検討していくことが必要であると判断しております。

その中において、平成19年4月にインターネット通信販売事業を展開する(株)ネオスの子会社化したしました。同社は業容の拡大に伴って、ネットインフラの整備を行うことを要することから当社グループの一員となりました。当社グループの一員となることにより、システム面の強化を果たすことで、大幅に売上高及び利益の向上が見込まれる状況にあります。

当期におきましても、グループ相互間の連携を強めていくとともに、さらなる業容の拡大および新規事業の参入を目的として、M & Aを中心とした資本提携および業務提携を積極的に検討してまいり所存であります。

次期の連結業績見通しにつきましては、各種サービスの売上の増加が見込まれるとともに、連結子会社が1社増加することなどから、連結売上高1,560百万円(前年同期比129.0%)を予定しております。また、費用面につきましては、新規サービスの開発に必要な技術者を中心に積極的に採用を行った結果、人件費が増加する見込みではありますが、連結売上高の増加が見込まれることから、連結経常利益380百万円(前年同期比111.8%)、連結当期純利益210百万円(前年同期比100.5%)と、増収増益を見込んでおります。

次期における1株当たり配当額につきましては、600円を予定しておりますが、当社グループの方針として、配当性向20%~30%を一応の目安とし、1株当たり当期純利益の増加に伴って、1株当たり配当額につきましても継続的な向上に努めていく方針であります。

なお、本日発表の業績予想には既に開示した企業以外のM & A及び次期予定している新規サービスによる業績の変動は見込んでおりません。

参考：平成20年3月期通期業績予想(連結・単体)

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,560 百万円 (129.0%)	380 百万円 (111.8%)	210 百万円 (100.5%)
単 体	1,010 百万円 (111.0%)	330 百万円 (129.9%)	180 百万円 (130.4%)

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。したがって、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることもご承知おきください。

また、公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、営業利益、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

なお、詳細につきましては、当社ウェブサイト (<http://www.asj.ad.jp/>) に掲載しております「平成19年3月期 決算短信」をご参照ください。